

## 平成 21 年度版高等学校男子適用規則

平成 21 年 2 月 22 日  
全国高等学校体育連盟体操部  
日本体操協会審判委員会  
体操競技男子部

### 平成 21 年度版高等学校男子適用規則作成のねらい

FIG2009 年版採点規則が平成 21 年 1 月から施行されることになった。2006 年版で用いられた A 審判と A スコアが D 審判と D スコアへ、B 審判と B スコアが E 審判と E スコアへと名称が変更になった。跳馬を除く 5 種目の演技は難度の高い順に 9 技と終末技を定め、同一要求グループから最大 4 技を超えていないかを確認し、D スコアが決定される。E 審判は演技構成や技術、姿勢に関する演技実施についての E スコアを算出する。演技の決定点は D スコアと最終的な E スコアの合計によって算出される。ゆかと鉄棒については、組合せ加点が残されたが、つり輪の組合せ加点は排除され、グループ と の力技の連続は 4 技までと制限されることになった。難度の価値部分に G 難度が新設され、D スコアの基準がさらに高められた。E スコアについては、落下の減点が 1.00 に変更され、ゆかや跳馬の着地減点がさらに厳しくなり、より習熟度の高い演技が求められる。

今年度から施行される FIG2009 年版採点規則は、前回の改訂のような大きな変動はないが、そのまま高校生の大会へ導入することは成長過程にある高校生の選手育成にも影響を与えるものと推測する。よって高体連技術部の強い要望のもと、今年度からは、2009 年版採点規則を基本に作成した平成 21 年度版高等学校男子適用規則を施行し競技会への対応を図ることとする。

なお、平成 21 年度版高等学校男子適用規則として、ここに取り上げた以外の規則、条項は 2009 年版採点規則が適用される。したがって、平成 21 年度版高等学校男子適用規則とともに 2009 年版採点規則や関連する男子体操競技情報についても熟知され、日本の体操界を担う高校生の指導・育成にご尽力願いたい。

次に示すもの以外は、2009年版採点規則（日本体操協会発行）を適用する。

#### 1 終末技について

A 難度・・・・・・・・・・ +0.10

B 難度・・・・・・・・・・ +0.20

#### 2 難度の設定について

) 下記に示す技は、2009年度版に示された難度表とは異なる難度を与える。

つり輪

- ・ 屈腕ほん転逆上がり倒立（屈腕後方車輪）C 難度、+実施減点（グループで伸腕の捌きと同一枠）
- ・ 屈腕後ろ振り上がり倒立（屈腕前方車輪）C 難度、+実施減点（グループで伸腕の捌きと同一枠）

平行棒

- ・ 前振りひねり支持、逆上がり支持、棒下宙返り支持、後方棒上宙返り支持  
：45度以下はB難度で倒立位と同一技番号、+実施減点。

鉄 棒

- ・ 足裏支持回転（ひねり）倒立 A 難度（グループ）

) 下記の終末技はA難度とする。

- つり輪、平行棒、鉄棒の前方・後方（かかえ込み・屈身・伸身）宙返り下り  
) あん馬の終末技について（2006版国内対応と同様に扱う）
- ・ 終末技として認められない場合は、やり直しを認める。
  - ・ 倒立下りひねりや移動で馬体の反対側に着地した場合など、不完全な実施は倒立までの難度を終末技として認定する。+実施減点。

#### 3 禁止技について

ゆかの前方1 1/2宙返り転（後ろとびひねりからを含む）は禁止技とする。その実施は、価値が認められない。

#### 4 補足

- ) つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒において、1名の補助者をつけることができる。
- ) つり輪に対して着地用マットの使用を認める。
- ) 平行棒のアップ時間を50秒（インターハイのみ）とする。但し、アップ開始の計測は、前ウォーム・アップ者の終了と同時に行う。
- ) 第2条2.d「服装違反」について、国内では全ての競技においてD1審判により決定点から-0.3の減点となる。
- ) オーダーミスについて、国内では全ての競技においてD1審判により最初に間違えた選手の決定点から-0.3の減点となる。